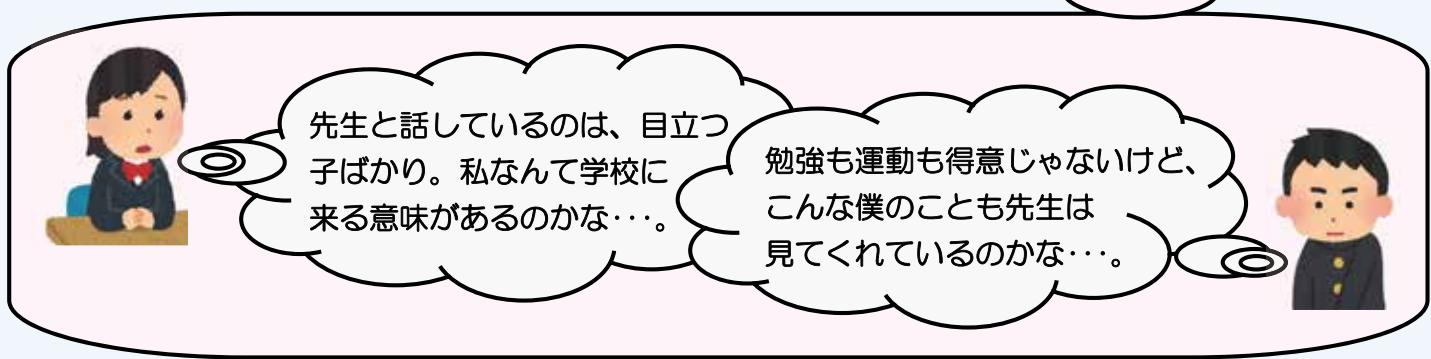
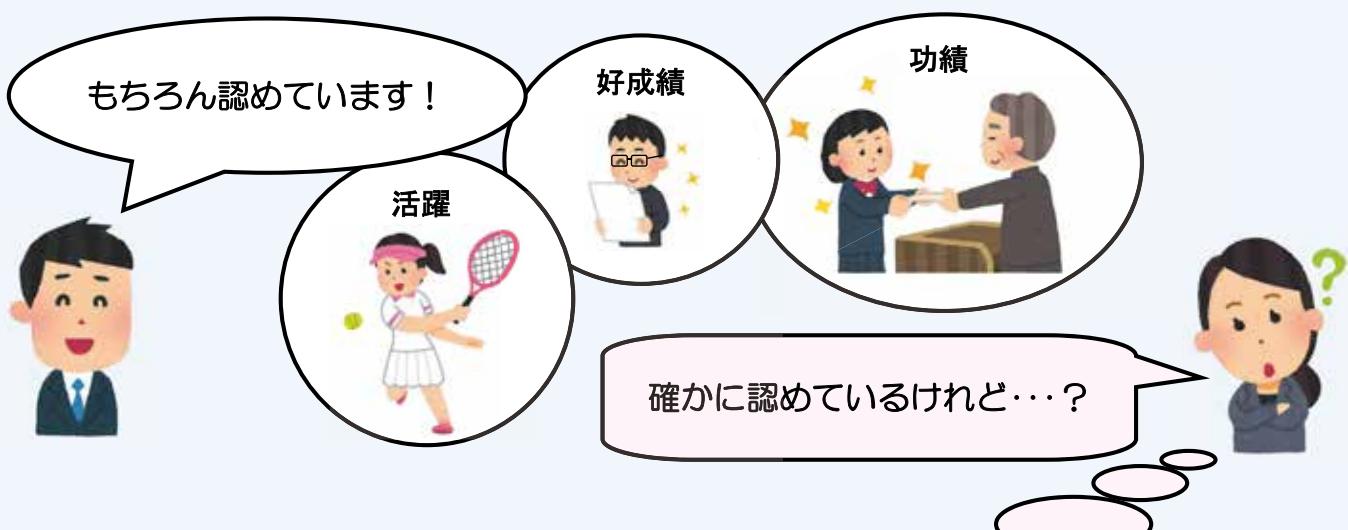


児童生徒への適切な指導のために

～ 一人一人を『認める』～

子どもが意欲的に学校生活を送るための原動力となる「自信」は、認められる経験等を通して育っていきます。子どもが一日の大半を過ごす学校では、子どもを認める場面がたくさんあります。子どもの自信を育てるために、一人一人を『認める』ことについて考えてみましょう。

子どもたち一人一人を認めていますか？



学校では、“よくできたことやがんばったこと”を捉えて子どもを認めることが多いと思います。しかし一方で、自分は先生から認められていないと感じている子どもがいるかもしれません。

成果や活躍はもちろん、それ以外のところにも目を向けることで、子どもを捉える視点が広がり、一人一人を『認める』ことにつながります。



『認める』ってどういうこと?

子どもを『認める』ということには、「**承認する**」ことと「**関心を示す**」ことの2つがあると考えられます。

「承認する」こと

成果や活躍 に焦点を当てる

努力の過程や子どもの持っている力 に焦点を当てる

伝えたいメッセージは…

「あなたのよいところを、わかっているよ」
「あなたががんばっていることは、これだね」

- ▶ その子の思いや願い、持ち味も大切にします。
- ▶ 毎日登校している、学習に取り組んでいるなど、当たり前に思えることも肯定的に捉えて伝えます。

できるようになったことなど、**その子の成長**にも注目します。



「関心を示す」こと

存在そのもの に焦点を当てる

伝えたいメッセージは…

「あなたのことを、ちゃんと見ているよ」
「あなたのことを、気に留めているよ」
「あなたの思いを、わからうとしているよ」

子どもにメッセージが届いていることが大事です。

“伝えた”ではなく
伝わったかどうかが大切なのか!



「関心を示す」ことを意識してみましょう

教員が「**関心を示す**」ことで、子どもは自分の存在が認められ、「自分はここにいていいのだ」などという安心感を得ることができます。ですから、教員が意識して子どもに「**関心を示す**」ことが重要です。

そして、その上で「**承認する**」ことを積み重ねていきます。

『認める』かかわり～その子に応じて・こまめに・継続して～

学校では、教員が子どもとかかわる場面はたくさんあります。

子どもとのかかわりを『認める』機会にしていきましょう。

「すごい」「がんばったね」だけではなく、**具体的に**伝えるといいのか!



成果や活躍 に焦点を当てて、かかわる

○ よくできたことなど

(例)・運動会で活躍したことに、「徒競走、速かったね。感動したよ！」と伝える。

努力の過程や子どもの持っている力 に焦点を当てて、かかわる

○ がんばっているところ

(例)・毎日家庭学習に取り組んでいることに、「ずっと続いているね」とことばをかける。

○ 得意なこと、できているところ、うまくいっているところ

(例)・英語の授業で音読しているときに、「上手に読めるようになったね」とほめる。
・休み時間に次の授業の準備ができていることに、「用意が早いね」と伝える。



存在そのもの に焦点を当てて、かかわる

○ 一人一人がそこにいること

朝の会 (例)・呼名をするときに、一人一人の顔（表情）を見る。
帰りの会 ・通知等が休んでいる子どもの席にも配付されているかを確認する。

授業中 (例)・自分の意見を発表している子どものことばを、うなずきながら聞く。
・学習への取組の様子を観察し、気になった子どものそばに行く。

休み時間等 (例)・廊下などで会ったときに、「〇〇さん、おはよう」と笑顔で挨拶をする。
・一日のうちに学級の全員と話すようにする。

日頃から先生方が行っていることに、伝えたいメッセージを乗せるといいですね。

『認める』かかわりのポイント

- ▶ 具体的なことばの他にも、いろいろな方法で！

【例】視線を合わせる、表情で示す、身振り・手振りで示す、文字で表す など

- ▶ 短い時間でも、子どもと1対1でかかわる時間を大切に！

- ▶ 学級担任はもちろん、全教職員で！

認められると感じると…



教員の「**関心を示す**」、「**承認する**」という2つのかかわりの積み重ねにより、子ども自身が認められると感じると、安心感が高まり、子どもの自信はより育っていきます。自信をもった子どもは意欲的に学校生活を送れるようになるとともに、自らの力で課題を解決しようとすることができるようになります。

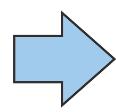


自分が認められる経験は、他人を認めることにつながります。お互いを認め合うことで、子ども相互の温かい人間関係が育ち、一人一人のよさや違いを尊重し合える集団になっていきます。こうした集団づくりは、ひいてはいじめや不登校を未然に防ぐことにもつながっていきます。

自分が認められる経験は…



他人を認めることにつながる



温かい人間関係が育つ



いじめや不登校の未然防止

栃木県総合教育センター教育相談部発行資料

- 児童生徒への適切な指導のために～指導の進め方～〈リーフレット〉 平成26(2014)年
 - 児童生徒への適切な指導のヒント 事例集 平成27(2015)年
 - 児童生徒への適切な指導のために～かかわりの基本～〈リーフレット〉 平成27(2015)年
 - 児童生徒への適切な指導のために～ケース会議の進め方～〈リーフレット〉 平成28(2016)年
 - 児童生徒支援に関する指導資料
- 「欠席が気になる児童生徒への指導のヒント～不登校の初期対応～」 平成29(2017)年

※ その他、多数の資料を発行しております。全て総合教育センターWebサイトからダウンロードできます。

